

# ご挨拶



独立行政法人住宅金融支援機構は本年4月1日で設立から10年を迎えました。

平成19年4月1日に独立行政法人として発足以来、住宅金融市場における安定的な資金供給を支援し、我が国の住生活の向上に貢献できるよう努めてまいりました。

昨年度までの第一期・第二期中期目標期間につきましては、経営改革を進め、すべての勘定において繰越欠損金を解消するなどの目標が課せられていましたが、おかげさまでもちまして無事達成することができました。これは、多くのお客さまにご利用いただくとともに、金融機関、住宅事業者、地方公共団体等の関係者の皆さまにご理解、ご協力いただいた賜物であり、心より御礼申し上げます。

今年度より第三期中期目標期間が始まりました。安定的な経営基盤を確保した上で、政策実施機能の最大化を図ることが第三期中期目標の最大の特徴です。10年前に独立行政法人へ移行したときに初めて中期目標が与えられ、役職員全員がその目標の達成に向けて精力を傾けた時と同じ気持ちで役職員一丸となって、地域の住まいやまちづくりの課題解決に係る新たな目標の達成に向けて取り組んでまいります。

発生から6年が経過した東日本大震災や昨年発生した熊本地震等の自然災害により被災された方に対しては、災害復興住宅融資等を通じて被災者の気持ちに寄り添った支援を引き続き行ってまいります。

今後とも皆さまの一層のご支援とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成29年6月

独立行政法人 住宅金融支援機構  
理事長 加藤 利男